

学校だより



柏っ子

令和 6年 3月

恵庭市立柏小学校

恵庭市文京町 3 丁目 3-3

TEL : 32-3579 FAX: 32-5504

特別号



あいさついっぱい、笑顔あふれる柏っ子

令和5年度 柏小学校の教育活動の自己評価、児童・保護者アンケート

今年度の学校の取組の自己評価（学校内評価）および学校関係者評価（学校運営協議会委員による評価）と、昨年末に実施しました児童・保護者アンケートの結果などについて、保護者・地域の皆様にご報告いたします。柏小学校の子どもたちが望ましい方向へと伸びていけるよう、学校と家庭・地域が互いに連携して指導にあたってまいります。今後ご協力をお願いします。

柏小学校長 東 祐史

I 教育活動の評価

1. 目指す学校像

<input type="checkbox"/> 子ども達が喜んで通学し、生き生きと学習・活動する学校 <input type="checkbox"/> 保護者・地域が信頼し、子どもを通わせたいと思う学校 <input type="checkbox"/> 教職員が意欲と向上心を持ち、チャレンジする学校（ナイストライ精神）	学校運営協議会における適切さの評価
	目標設定の適切さ
	A

○子どもが喜んで学校に通学できる学校であってほしい。

2. 本年度の重点目標

【重点目標】 夢をいだき、未来を拓く学びの充実 ～ 基礎基本の定着をもとに、対話的な学びを充実させ、自ら考える子の育成 ～ 【重点キーワード】 ～ チャレンジ(ナイストライ精神) ～ <input type="checkbox"/> 自ら学ぶ力と活用力育成のための基礎基本の確実な定着 <input type="checkbox"/> 対話の目的、視点を明確にした「対話的な学び」の充実 <input type="checkbox"/> すべての子どもに「優しさ」を感じさせる指導の充実	学校運営協議会における適切さの評価 目標設定の適切さ A ○今年の6年生のバスでの恵庭の中を見て歩いたのは良かった。
---	---

3. 行動指針

【目指す教師像】 <input type="checkbox"/> 子どもと共に学ぶ姿勢(謙虚さ)をもち、優しさを感じさせ、温かく、厳しく指導できる教職員 <input type="checkbox"/> 学力向上を目指し、授業改善に取り組む教職員(基礎基本の定着・対話的な学びの充実) <input type="checkbox"/> 教育への情熱と使命感をもち、協働して高め合い、学び続ける教職員(自己研鑽の充実) <input type="checkbox"/> 地域・保護者に期待され、信頼される教職員 【行動指針】 凡事徹底～まずは教師が、そして子どもも～ (1)わかる・できる・楽しい授業づくり (2)「あいさつ」「正しい言葉遣い」 (3)優しい言葉かけと丁寧で誠意のある対応 (4)全職員で取り組む (5)「報告」「連絡」「相談」 (6)整理整頓、原状回復、時刻・期限を守る (7)教育公務員としての自覚	学校運営協議会における適切さの評価 目標設定の適切さ A ○現在の厳しい教育環境の中、教職員の熱心さには頭が下がります。 ○教職員はよくやってくれてると思ってます。
---	--

4. 学校評価の方法

(1) 学校経営方針及び重点目標の提示・説明 教職員…職員会議(4月) 保護者…学校説明会・学校便り(4月) 地域…学校便り・HP(4～5月) (2) 学校自己評価 ①学校自己評価…中間評価(7～8月)、年度末評価(11～12月) ②児童によるアンケート及び授業評価(7月・11月) ③保護者アンケート(11～12月) ④各行事・日常活動の評価(各実施後に適宜、職員会議) (3) 学校運営協議会での運営方針等の提示・学校自己評価の適切さの評価 ①本年度の経営方針等の説明(4月) ②学校自己評価の適切さの評価、取組や改善策への意見(12月～2月)	学校運営協議会における適切さの評価 目標設定の適切さ A
---	------------------------------------

5. 自己評価・学校関係者評価の結果

No	自己評価の結果		学校運営協議会における適切さの評価	
	評価項目		達成状況	自己評価の適切さ
	大項目	小項目(今年度の重点項目)		
1	「ふるさと恵庭」を軸とした特色ある教育活動	地域学習を中心に据えた探求的な活動を展開する「総合的な学習の時間」の充実に努める。	A	A
		外国語活動、外国語、プログラミング教育等、新たな取組の実施、充実に努める。	B	
		<自己評価及び改善の方策> ○コロナ禍が明けた今年は、なるべく例年のような取り組みを行うように心がけてきました。人材活用を含めた地域の学習材の活用については、ふるさと教育コーディネーターを有効に活用して進めることができました。特に、栽培活動の地域の方々による指導や学校周辺の公園や施設、商店を活用した学習、防災教育などは積極的に実施することができました。 ○GIGAスクール構想については、クロームブックの授業中での活用や持ち帰りも含めて、保護者の方にも浸透してきています。		
2	基礎基本の確実な定着と各学年の積み重ねを意識した学習指導の充実	学習規律の徹底を図り、担任が変わっても子どもが困らない、6年間変わらない指導に努める。(「学びに向かう姿勢」の継続指導)	B	B
		基礎基本や学び方を重視し、各学年の四則計算、漢字の習得に努める。	B	
		<自己評価及び改善の方策> ○研修部が中心となり、共通学習規律を作成し、返事や話形などより共通した学習規律を徹底することができました。 ○全職員が「学習規律」や自己の考えを広げ深める「対話的な学び」を意識した授業を行うことができました。 ○「最低保証学力」の取り組みを行い、学び残しがないように努めることができました。しかし、基礎基本の定着に関しては、さらに取り組みを強化していく必要があります。		
3	豊かな心を育む道徳と文化活動の充実	「挨拶いっぱい、笑顔あふれる柏っ子」を合い言葉に、自分から進んで挨拶をしたり、正しい言葉遣いをしたりするなどの指導を通して、より良く生活する態度を育む。	B	A
		児童の読書意欲を高める環境づくりや働きかけに努める。	A	
		<自己評価及び改善の方策> ○気持ちのよい「あいさつ」の励行と正しい言葉遣いへの統一した指導を目指すことができました。 ○「読書まつり」では、学校図書館司書の働きかけや保護者による図書ボランティアの活動により、工夫を凝らしながら様々な企画を進めることができました。		
4	健やかな体を育み、自分の命を守る健康・安全教育の充実	体育の授業を中心に据えて、集団遊び等様々な活動を通して体力向上を図る。	B	B
		「新しい学校生活様式」「早寝早起き朝ごはん」などの望ましい生活習慣が身につくよう指導を図るとともに、家庭への啓発に努める。	B	
		<自己評価及び改善の方策> ○新体力テストの結果をもとにした準備運動や補助運動を行ったり、体力向上に向け、運動に関心をもつ環境づくり、遊びの推奨をすることができました。 ○「柏っ子ウィーク」の取り組みを行い、規則正しい生活習慣が身についていない児童への働きかけをすることができました。		
5	自己指導能力を育む生徒指導の充実	日々の子どものふれあいを通して児童理解に努め、思いやりや前向きな気持ちを育む生徒指導に努める。(積極的な生徒指導)	B	A
		いじめ防止や早期発見・解決に組織的に取り組むとともに、学校全体で「いじめを許さない」という意識を高める。	A	
		<自己評価及び改善の方策> ○担任外教諭を中心に担任や学年と連携し、問題行動等の指導にあたりました。組織的・機動的な体制で今後も取り組んでいきます。 ○担任外教諭や管理職が、不登校の児童や不登校傾向の児童、保護者対応を行っています。市関係部局と連携していますが、改善策は難しい状況です。		
6	一人ひとりのニーズに応じた指導の充実	特別支援学級においては、実態に沿った教育課程の編成・実施を図ると共に、個々の児童の教育的ニーズに応じた指導・支援に努める。	B	A
		特別支援教育コーディネーターを中心に、保護者の理解のもと、通級指導教室、特別支援学級と連携を取りながら、児童のニーズにあった支援を行う。	A	
		<自己評価及び改善の方策> ○特別な支援が必要な児童のニーズにあった支援を行うため、特別支援コーディネーターが中心となって保護者面談や担任・通級担当教諭との情報交流等を実施することができました。 ○通級指導教室(レルマップ)と特別支援教育コーディネーターの連携を密にし、個々の児童の実態に基づいた指導の充実を図ることができました。		
7	学習規律を土台とした指導力向上に向けた校内研究・研修の充実	学校課題を明確にした校内研究の充実	B	A
		飲酒運転や体罰の撲滅など、コンプライアンスの徹底に努める。	A	
		<自己評価及び改善の方策> ○全国学力・学習状況調査の児童質問紙においては、全般的に「授業がよくわかる」「わかるように教えてくれる」という高い評価でしたが、のびしろ層の指導の充実が更に必要です。 ○職員会議や朝の打合せ、資料回覧などを活用し、継続的にコンプライアンス研修を進めることができました。		

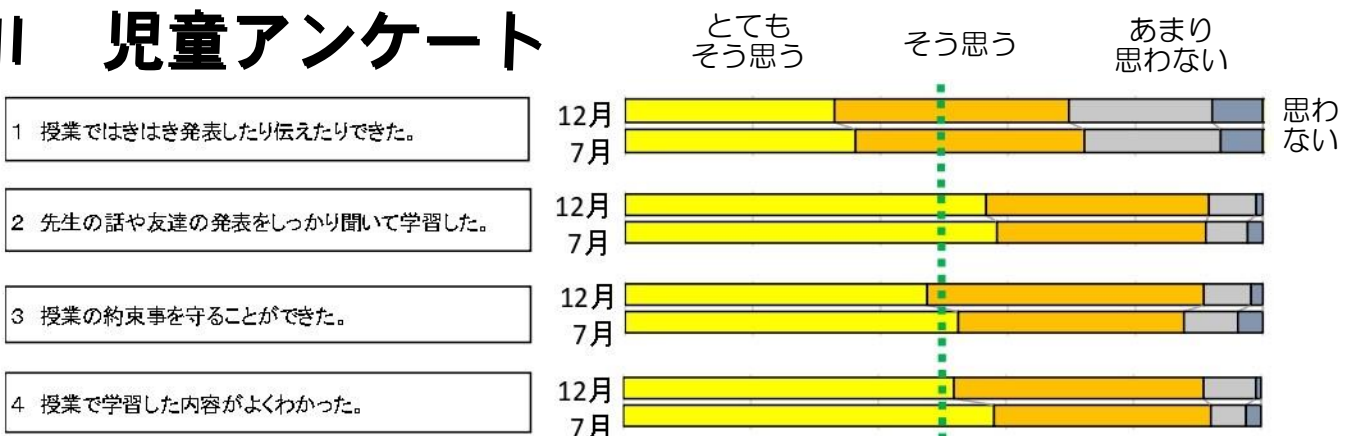
No	自己評価の結果		学校運営協議会における適切さの評価	
	評価項目		達成状況	自己評価の適切さ
	大項目	小項目(今年度の重点項目)		
8	地域・家庭・学校の協働による教育活動・支援活動の推進	地域と協働して子どもたちを育ていく学校運営協議会の運営に努める。	A	A
		スムーズな接続ができるよう、小中連携教育推進委員会の取組を軸として、幼小中の連携の充実を図る。 <自己評価及び改善の方策> ○コミュニティ・スクールの活動は、職員からの評価も高く、保護者の方からも評価を頂いています。熟議の機会を持ち、今後も教育課題の解決に向けた活動を推進していきます。 ○小学校進学に向け、幼保との交流や相談の機会が増えてきました。中学校との連携については、6年生による「部活動見学」「図書館見学」を実施することができました。	A	
9	落ち着いた学習や活動(業務)に取り組むことができる学校づくり	整理整頓や原状復帰に努め、みんなが気持ちよく活動できる環境を維持する。	B	A
		業務の効率化や見直し等により、子どもと向き合う時間や時間外勤務の縮減に努める。 <自己評価及び改善の方策> ○校舎に関しては老朽化が目立ち、業務主事が日常的に修繕を行っている状況です。危険箇所や大規模な修繕が必要な箇所については市教委へ報告しています。 ○業務の効率化、時間外勤務の縮減については全職員の意識化はできていますが、保護者対応も含めて業務量が増え続けているため、縮減にはつながっていません。	B	

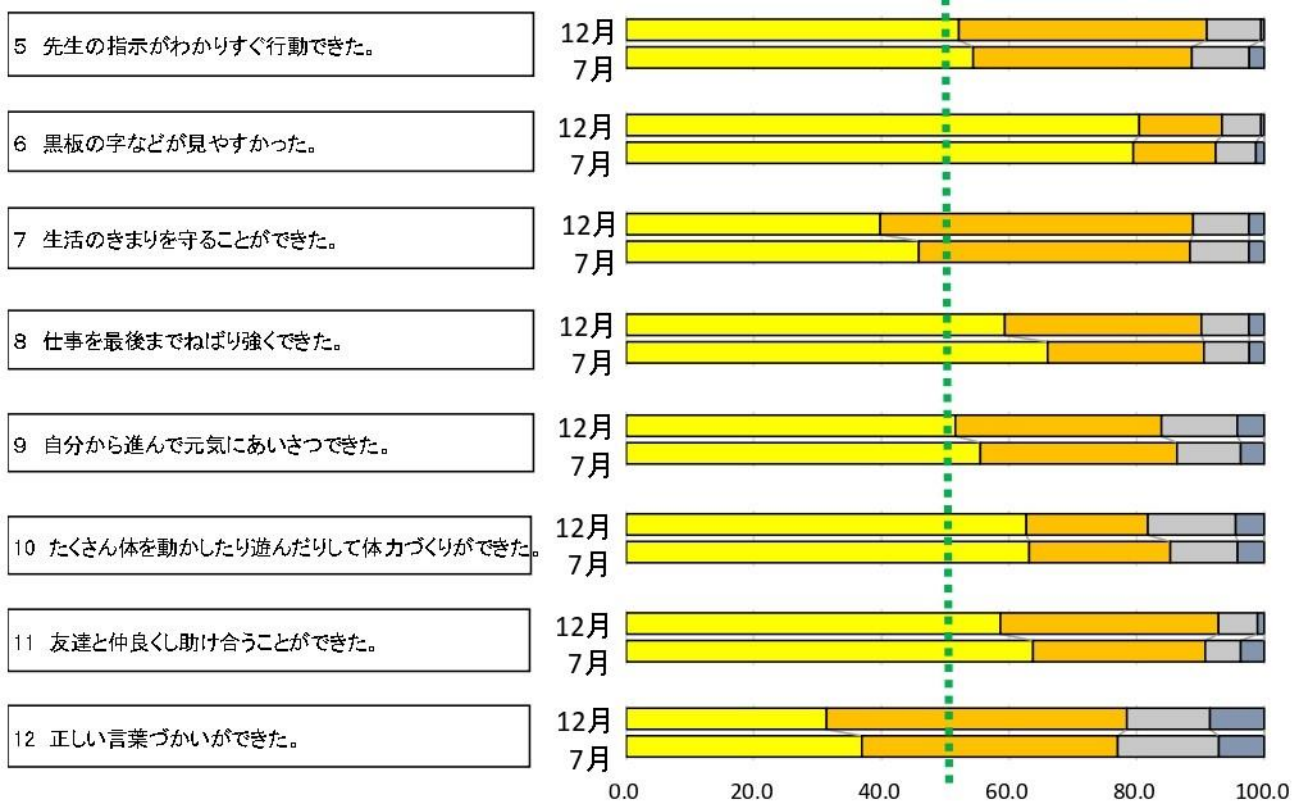
No.4 (健やかな体を育み、自分の命を守る健康・安全教育の充実) について学校運営協議会委員の方から、「体力向上は現在の生活環境では非常に難しいと思いますが、外に出て遊ぶことを奨励してください。」という意見がありました。いただいたご意見を真摯に受け止め、取り組んでいきます。

6. 今後の方向性についての校長所見

- 基礎基本の定着に力を入れ、基礎基本の定着した児童の更なる活用力の育成を図ってきました。研究部や教務部が中心となり、対話的な学びの充実に向け、学習活動の中で、どのような話し合いをすることが良いのか考え、研修を深めてきました。また、ICT(電子黒板やタブレット端末)を基礎基本定着のための習熟学習に使用したり、話し合いの場面でタブレットを使ったりしながら、効果的な活用方法についても研修を深めてきました。タブレットの使い方については、今年度1年間で、1年生から6年生までほとんどの児童が上手に使えるスキルが身に付いたと考えています。今年度については、ある程度、基礎基本の定着、対話的な学びの充実が図られたと考えます。次年度は、引き続き、学習規律の徹底、基礎的基本的な学習事項の定着、対話的な学びの充実を図るための教員研修を充実させて、児童の成長に繋げていきます。
- 各学年で身につける必要のある学習内容や生活習慣等を、確実にその学年で身につけさせる必要があると考えます。学校生活の基盤となる学級づくりを、日々の生活や学年の積み上げを大切に、子ども達が学校生活を楽しみ、前向きに学習に取り組めるよう全教職員が一体となった指導を行ってきました。次年度も継続していきます。
- 未来を拓く学びの充実のために、家庭や地域との連携を密にし、学校運営協議会をはじめとした地域の方と連携を密にしていく必要があると考えます。学校の教育活動での制限も解除されてきているので、集会活動や校外での活動も充実させていきます。さらに、児童の成長過程を見通した指導するため、また、指導をより充実させるために、幼保・小・中の連携の充実を図っていきます。
- 心豊かな児童を育むためには、過ごしやすい教室、学校校舎の環境が重要であると考えます。冬の暖房器具も老朽化しているのか、特に、3、4年生の教室が非常に寒いです。また、過去に壁の一部を改修したが全体的に老朽化しています。市教委と連携し、気持ちよく過ごせる校舎となるよう改善を図ってきたいのですが、市教委は予算の関係で、なかなか改修できない状況です。校舎の照明は、暗いと感じていたが、照明のLED化が図られたことで廊下等が少し明るくなりました。

II 児童アンケート



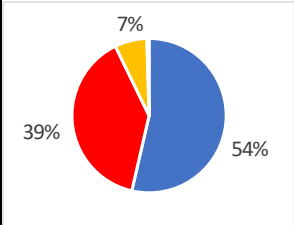
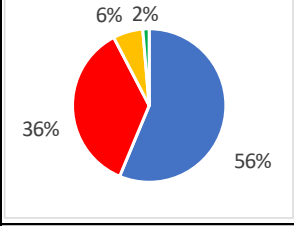
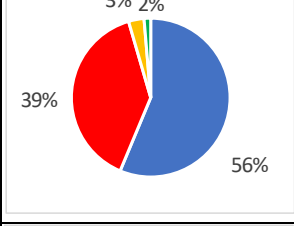
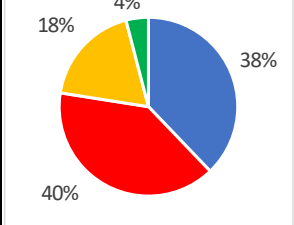
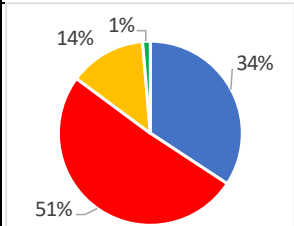
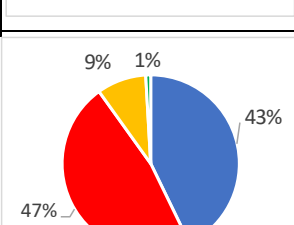


○7月と比較し、大きな変化はありませんでしたが、年々、「思わない」と評価する児童は減ってきています。良い評価へ移っている様子を伺うことができます。

○柏小の傾向として、「授業ではきはき発表したり伝えたりできた（1の項目）」に関して、十分に自信を持つことができない児童が毎年多い状況になっています。発表の機会を増やすだけでなく、「学び合い、認め合う」学級づくり・学校風土を心がけていきます。

III 保護者アンケート

評価項目	評定				平均	割合							
	A (4)	B (3)	C (2)	D (1)		4	3	2	1				
(1) 学校は、子どもたちの良いあいさつや正しい言葉づかい、集団生活のルールが身につくよう取り組んでいる。 (凡事徹底…当たり前のことを、あたり前に行う)	1年 16 2年 21 3年 22 4年 18 5年 19 6年 19	115	1年 8 2年 25 3年 17 4年 15 5年 8 6年 23	96	1年 0 2年 1 3年 0 4年 3 5年 1 6年 4	9	1年 0 2年 1 3年 0 4年 1 5年 0 6年 0	2	3.46	43%	52%	4%	1%
(2) 学校は、教育活動の方針や取組の内容、子どもたちの活動の様子を詳しく伝えている。 (お便り、学校長や担任からの説明、参観・懇談、ホームページなど)	1年 13 2年 25 3年 24 4年 22 5年 17 6年 21	122	1年 8 2年 19 3年 11 4年 13 5年 7 6年 22	80	1年 3 2年 3 3年 4 4年 1 5年 4 6年 3	18	1年 0 2年 1 3年 0 4年 1 5年 0 6年 0	2	3.45	36%	55%	8%	1%
(3) 学校は、子どもたちにわかる喜びを感じさせ、勉強面で自信がつくよう、学習の工夫改善に努めている。(授業の工夫、算数でのTTや少人数指導、放課後等の補充指導)	1年 15 2年 22 3年 23 4年 23 5年 18 6年 20	121	1年 7 2年 22 3年 16 4年 9 5年 10 6年 20	84	1年 1 2年 3 3年 0 4年 4 5年 0 6年 5	13	1年 1 2年 1 3年 0 4年 1 5年 0 6年 1	4	3.45	38%	54%	6%	2%
(4) 学校は、子どもたちが本を好きになり、進んで読書を行っていくよう努めている (蔵書の充実、読書環境の整備や工夫、図書を活用した調べ学習など)	1年 13 2年 19 3年 27 4年 21 5年 14 6年 15	109	1年 9 2年 19 3年 10 4年 11 5年 13 6年 22	84	1年 2 2年 10 3年 2 4年 4 5年 1 6年 7	26	1年 0 2年 0 3年 0 4年 1 5年 0 6年 2	3	3.35	38%	49%	12%	1%

(5)	学校は、恵庭市や校区内の特色を生かした教育活動に努めるとともに、地域の方とのふれあいを大切にしている。 (ふるさと教育、コミュニティ・スクールの取組)	1年 12 2年 25 3年 25 4年 20 5年 15 6年 22	119	1年 12 2年 17 3年 12 4年 16 5年 12 6年 18	87	1年 0 2年 6 3年 2 4年 1 5年 1 6年 5	15	1年 0 2年 0 3年 0 4年 0 5年 0 6年 1	1	3.46	
(6)	学校は、交通事故防止の指導、不審者出没や災害への対応、校舎内外の点検・修理など、児童の安全確保に努めている。 (交通安全指導、各種避難訓練など)	1年 15 2年 26 3年 26 4年 19 5年 15 6年 24	125	1年 6 2年 20 3年 11 4年 16 5年 12 6年 15	80	1年 2 2年 2 3年 1 4年 2 5年 1 6年 6	14	1年 1 2年 0 3年 1 4年 0 5年 0 6年 1	3	3.47	
(7)	学校は、子どもや保護者の悩みや相談にいてねいに対応したり、保護者が協力・支援したりできるよう努めている。 (学校への相談対応、PTA活動への協力など)	1年 13 2年 26 3年 26 4年 19 5年 16 6年 25	125	1年 10 2年 21 3年 12 4年 16 5年 12 6年 16	87	1年 0 2年 1 3年 1 4年 1 5年 0 6年 4	7	1年 1 2年 0 3年 0 4年 1 5年 0 6年 1	3	3.50	
(8)	お子さんはご家庭で、宿題や自主学習を目安の時間(学年×10分に、あと10分程度)に近いくらい取り組むようになってきている。	1年 15 2年 24 3年 11 4年 12 5年 7 6年 15	84	1年 7 2年 17 3年 20 4年 15 5年 12 6年 17	88	1年 1 2年 6 3年 7 4年 9 5年 7 6年 11	41	1年 1 2年 1 3年 1 4年 1 5年 2 6年 3	9	3.11	
(9)	お子さんはご家庭や地域で、望ましい生活習慣や安全、マナーなどに気をつけて過ごさようになってきている。 (早寝早起き朝ご飯、時間を決めてのTVやゲーム、事故やトラブル防止など)	1年 10 2年 17 3年 18 4年 11 5年 8 6年 12	76	1年 10 2年 23 3年 20 4年 21 5年 15 6年 24	113	1年 2 2年 8 3年 1 4年 5 5年 5 6年 9	30	1年 2 2年 0 3年 0 4年 0 5年 0 6年 1	3	3.18	
(10)	お子さんはご家庭や地域で、すすんであいさつをするようになってきている。 (起床や就寝の前、登校や帰宅時、家の近くの人へのあいさつ)やゲーム、事故やトラブル防止など)	1年 7 2年 18 3年 19 4年 16 5年 16 6年 19	95	1年 17 2年 26 3年 14 4年 16 5年 9 6年 23	105	1年 0 2年 4 3年 6 4年 4 5年 3 6年 3	20	1年 0 2年 0 3年 0 4年 1 5年 0 6年 1	2	3.32	

保護者アンケートから

○昨年度と同じ項目でアンケートに回答していただきました。A(あてはまる)の割合が多かった項目の順に「7. 学校は、子どもや保護者の悩みや相談にいてねいに対応したり、保護者が協力・支援したりできるよう努めている。」(平均 3.50)、「6. 学校は、交通事故防止の指導、不審者出没や災害への対応、校舎内外の点検・修理など、児童の安全確保に努めている。」(3.47)となっており、子どもたちが安心して登校できる学校づくりを目指してきたことに対して、一定程度の評価をいただきました。これからも全ての児童が安心して学校生活を送ることができる学校を目指していきます。

○本校として、「あいさつ・正しい言葉づかい」の両方を大切に教育活動を推進してきましたが、今年度は「1. 学校は、子どもたちの良いあいさつや正しい言葉づかい、集団生活のルールが身につくよう取り組んでいる。」の評価が例年に比べ、少し低くなりました。今後も児童自身が成長を実感し、保護者の皆様がお子様の姿を通して教育の効果を感じ取ることができるよう、「凡事徹底」を積み重ねます。

記述意見から

【1. 凡事徹底に関わって】

○日常的な言葉づかいが乱暴な子が多い気がします。そして、公園などの放課後の遊び方も危険な事もよくある気がします。学童の子ども達が学童の先生への接し方が気になる事がありました。というご意見をいただきました。

→子どもの言葉遣いは、日々の言語環境が大きく影響します。そのため言葉遣いについては学校でも日々指導しているところですが、ご家庭とも連携しながら適切な言葉遣いが身に付くようにしていきたいと考えています。

【2. 方針や教育活動の周知について】

○ホームページの学校日記の更新が少なく残念です。年度始めは期待してまめに見ていたけど、だんだん更新される頻度が少なくなってきたのでホームページを開く機会が減りました。せっかくのホームページなのに残念に思います。

○子供達の様子が子供達が自ら話すような年齢にならなくなってくると、わからないことが多く、虐められたりしていないか、教室の雰囲気など不安になる。というご意見をいただきました。

→学校での児童の様子については、今後も参観日や懇談、通知表、ホームページや各種通信等、様々な機会を通してお知らせしていきます。何かご不明な点がありましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。

【6. 児童の安全確保や指導について】

○すみません、自分の子どものことではないのですが、交通安全指導に関連して危険な場面があったので報告させていただきます。

先日道路から家の敷地内へ車を入れようとバックしていたところ警告音が鳴ったので慌ててブレーキを踏むと、車の後ろ側から男の子が走り出てくるのが見えました。車をバックさせる前に周囲を確認していたので、おそらく近くの横断歩道の向こう側からダッシュし、渡り終えてすぐ左に曲がって車の後ろに走り込んできたのだと思います。

男の子は足を止めることなく走り去っていったので声をかけることもできず、自分が轢かれかけたことにも気づいていないと思います。ランドセルに黄色のカバーがついていたので、1年生ではないかと。今回は安全装置が作動して接触を避けられましたが、本当にぎりぎりでした。

車側が気をつけるべきなのはもちろんですが、子どもたちにも今回の出来事を共有し、動いている車に近づくのは危険だということ、走って移動されると(角を曲がるなど動線が直線でない場合は特に予測が難しいので)車側の対応が間に合わない可能性もあることを、改めて周知していただけるとありがたいです。お忙しいところ恐縮ですが、ご検討よろしく願いいたします。

○恵庭市の中で学校により大きな差が見受けられます。柏小学校では横断歩道や信号機のないところで横断する児童がいても改善が見受けられません。指導の徹底も甘いと思います。

○交通ルールを守れていない子供が多すぎるかと思えます。

というご意見をいただきました。

→時々、地域の方々からも通学路の歩き方や自転車の乗り方などご指導をいただきますので、学校でも引き続き指導をしていきます。特にもいざり公園の前の道路は、茂漁通との交差点から柏木中通の交差点までの約800mの間に横断歩道が一つもありません。子どもたちの健康や命に関わることでもありますので、ご家庭でも放課後の過ごし方について時間を取ってじっくりと話していただけたらと思います。

【7. 児童や保護者への対応・協力について】

○先生の言葉遣いが気になることがあります。
というご意見をいただきました。

→職員の言葉遣いについて貴重なご意見をいただきありがとうございます。児童に指導する立場である私たち教職員は、あいさつや言葉遣いなど、範を示さねばなりません。ご指摘いただいたことを真摯に受け止め今後の改善につなげていきます。

【8. 家庭での学習習慣について】

○他校の様に家庭学習用のプリントをもらいたいです。今こちらで購入した本を教科ごと1枚ずつちぎって毎日提出しています。
というご意見をいただきました。

→自主学習を進める目的は、学ぶ意欲の向上や学習習慣の確立です。その日に学んだことを家庭で振り返り、復習をしたり疑問に思ったことを自分なりにノートに書いてみたりすることからスタートしていくことが大切であると考えます。また、子どもの学ぶ意欲を継続していくためには、教師自身の働きかけも重要であると考えております。今後も発達段階に応じた具体的な取組内容について提案し発信していきます。

【10. 家庭や地域でのあいさつについて】

○知らない人、本当に知ってる人しか挨拶したら！ダメよ！って伝えてます！！春先や秋まで学童帰りに追いかけられた事が、あったので…迎えに行くようにしました。
○担任の先生にはお伝えしていますが、学校外で(通学路)で挨拶しても返ってこない。挨拶運動で校内では出来ているかもしれませんが、玄関出ると挨拶しない。学校前の道路でさえ斜め横断。車が来ていても堂々と真ん中歩く。信号待ち、歩道だけど端で座る。寝転ぶ。6年前ぐらいは近所の小学生のお子さんは挨拶を自らしてくれていた。交通マナーも守られていた。家庭内で教えるべきですが、学校内でも今一度よろしく願います。
というご意見をいただきました。

→あいさつについては、これまでも子どもたちへの声掛けをしています。さわやかなあいさつができるように、特に登下校中のあいさつについて、児童会活動での取組を通して子ども主体の活動にしていきたいと思います。ただし、ご意見にもあります通り、ご家庭によっては、子どもへの防犯教育として、「知らない人と話をしない」などと伝えている家庭もあるかもしれません。もしかすると子どもたちは、それらの教えをきちんと守っていることもあるのだとご理解いただければと思います。

【11. その他】

○のびのびと、楽しく過ごしていればいい。
○学習発表会は劇などもやった方が個性が活かされて良いと思う。簡素化されてる印象でした。
というご意見をいただきました。

→学習発表会については、学校で定めた教育課程に沿って「学習したことを発表する場」であること、「劇」を創り上げるには多くの時間と準備が必要となり、そのほかの教科指導等の時数を圧迫してしまうことなどの理由から、「音楽活動を中心とする発表」を行うこととしております。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

記載した以外にも温かな意見をたくさんいただき、ありがとうございました。今後も「子ども達が喜んで通学し、生き生きと学習・活動する学校」を目指して、充実した学校生活を送れるよう、保護者の皆様と協力していきたいと考えております。柏小学校に御支援・御協力をよろしくお願いいたします。